

- ◆デイサービスセンター共生の里
- ◆共生の里・成合デイサービス
- ◆グループホーム共生の里
- ◆共生の里訪問看護ステーション
- ◆なずなケアプランセンター
- ◆共生の里ヘルパーステーション
- ◆有料老人ホーム共生の里



老いつつある体①



<玉ねぎ収穫>

人は老いてゆく。それは誰しも承知しているが受け入れられるのは難しい。何かをしようと思って立ち上がった途端に、何をしようとしていたのか分からなくなる。老いの入り口だ。老いとうまく付き合えばいいものを、直ぐに「こんなはずじゃない」となるから始末が悪い。70歳を過ぎたのを機に、老いを受け入れると宣言した途端に、知人に付いて渡米する話が持ち上がった。さて、どうすべきか。老いつつある体は、血管の持病のため足が痛む不具合がある。そうになると、見知らぬ米国で同行者は大迷惑だ。さらに、長時間飛行機に座していると「血栓」ができるという。血管に持病のある者は命取りだ。渡米したいが、なかなか決断できない。最後は、二度とないチャンス、老いつつある体のままで行こうと、開き直って決断した。行ってみると、アメリカでの移動は全て車で足が痛むことはなかった。「血栓」は圧着靴下を使って予防と精神安定に努めた。何よりも、アメリカで日本から移住して40年の人の家に泊めてもらい、夜遅くまで貴重な話が聞けたことは大きな収穫だった。老いつつある体と付き合うのも、悪くない。